



ハウスカボス

青々と
玉太り



カボスを収穫する和田久光さん＝9日、竹田市入田

竹田「需要回復願ひ」収穫

【竹田】カボス産地の竹田市で9日、ハウスカボスの収穫が始まった。玉太りも良く例年並みの出来という。市カボス生産出荷組合長を務める同市入田の和田久光さん(72)方ハウスでは、青々とした果実がたわわに実り、摘み取り作業に追われた。

和田さんは23坪のハウスで約150本のカボスを栽培。ボイラーで加温して冬や夜間も15〜20度の室温を保って育てた。「実がなつてからの4、5月の天候がよく、いいカボスができた。果汁も十分」と和田さん。妻の京子さん(70)と一つ一つ丁寧に収穫した。同ハウスからは7月中旬までに6、7トの出荷を予定している。

J Aおおいた豊肥事業部によると、同市と豊後大野市緒方町で123戸の農家が、ハウスと露地計約40畝でカボスを栽培。大分市をはじめ、九州各県などに出荷している。

不作だった昨年の出荷量は青果と加工用を合わせて248ト、出荷額は約7300万円だった。

今季はハウス35ト、全体で400〜450トの出荷を見込む。ただ、現在の市場価格は1ト当たり800円ほど。新型コロナウイルス感染拡大の影響で例年より千円ほど安い。

同事業部は「緊急事態宣言も解かれた。飲食店が元気になり、需要が早く回復してほしい」と願った。

(山本吉純)

カボス産地の竹田市でハウスカボスの収穫が始まりました。

2020年6月10日付
大分合同新聞 14面

① 今年のカボスの出来具合はどうでしょう？また、生産者は何と話していますか？

.....玉太りも良く例年並みの出来。生産者は「実がなつてからの4、5月の天候がよく、いいカボスが出来た。果汁も十分」と話している。

②カボスの栽培農家は竹田市と豊後大野市緒方町を合わせて何戸ありますか？栽培面積は？

.....123戸の農家がハウスと露地計約40畝で栽培している。

③今年と違って気掛かりなことがあります。それは何でしょう？

.....新型コロナウイルスの感染拡大の影響で市場価格が例年より安いこと。

④見出しの〇に入る言葉は何ですか？ J Aおおいた豊肥事業部の人は何と話していますか？

.....竹田「〇〇〇〇願ひ」収穫 →竹田「需要回復願ひ」収穫

.....緊急事態宣言も解かれた。飲食店が元気になり、需要が早く回復してほしい